

経験の幅を広げる

岐阜県立郡上高等学校

「株式会社のだみつ花店」ってどんな企業(組合)?

主に仏花などの葬儀の花々、フラワーアレンジメントを扱い、スーパーなどにも提供をしている花屋です。



企業の外観

インターンシップ企業(組合)と実習期間

実習企業 株式会社のだみつ花店

(岐阜県郡上市八幡町小野4丁目1-18)

実習期間 令和4年10月11日(火)

～10月14日(金)

この企業を選んだ理由

園芸科学科に入ってから学んでいる草花の生産や活用、流通にも興味があったため、のだみつ花店を選びました。

インターンシップの主な実習内容

○Aコープ、コケッコ村への出荷

菊・榊・リンドウ・ユリ等を包装し、値段をつける。

○店内の花の管理(冷蔵庫)

花を取り出し、摘葉・摘蕾・摘花する。花のサイズに合った容器を洗い、水を入れ、花々を水きりした後の鮮度を保つためにすぐに容器の中に入れる。

○配達・回収(葬儀場、団体、個人宅)

葬儀場 花を入れるために外付けの扉を開ける。

両サイドの棚の上扉を開けてそこに作った花々を置いていく。左右対称に置く。

団体・個人 外にカップが置かれている場合は、そこに置く。お金を支払う場合は、領収書とメモ用紙に値段を書きこむ。挨拶、お礼をする際には、背を極力向けない。



水替えの様子

インターンシップをとおして学んだこと

株式会社のだみつ花店での仕事を実際に体験し、仕入れた花の手入や、管理をすることで、きれいな状態で売るといふ花屋ならではの魅力と、常に時間の配分に気を配ったり、お客様に対する対応に気を付けなければならないこと、そして自分の仕事の一つでも疑問をもって行うこと、そして周りを頼ることなど、生花の販売、流通の技術とともに、社会の一員としての在り方を学びました。

自分の進路選択において参考になったこと

私はこれまで、特段これをしていきたいなどの考えはありませんでしたが、実際に花屋の仕事を経験したことで、意外と自分に向いていると感じました。今後さらに学科での実習で草花生産や活用の技術を高め、進路実現を目指したいと思います。